

明けましておめでとうございます。皆さんがこうして元気に登校してきてくれたことを、嬉しく思います。コロナ禍も3年目に入ろうとしていますが、ウイルスもどんどん変異を繰り返し、世界中の人々が、たくさんの犠牲や多くの我慢を余儀なくされています。その様な状況の中、学校に行けること、友達と会えること、授業を受けられること、学べること、そして部活ができること・・・すべての日常に感謝して生活していきたいものです。

今日の始業式で、ひとつだけ皆さんにお話をしておきます。それは、「感謝の気持ちや思いや夢・目標を、しっかり言葉で発してみてください。」ということです。

先生の高校時代の友人のSさんの名刺がここに 있습니다。20年程前の同窓会でもらったものです。裏面に「ありがとうを一日100回以上発します」と書かれてあります。当時、彼には営業本部長の肩書があり、この名刺を配るたびに自分を鼓舞して、ありがとうと感謝の気持ちを忘れぬ様、戒めながら生きていたのだと思います。

また、知り合いのDさん（72歳）は、60歳の時にカウンターを携帯し、自分の心に、不平や不満が湧き出た時、「慈悲寛大自己反省、ありがとうございました」とDさん流の呪文を呟き、このカウンターで、カウントしているそうです。先日Dさんにお会いしたら、12年間で、5万回を超えたそうです。あっちの世界（天国）へ行くまでに、10万回には達したいと楽しそうに話してくれました。

そして先生は、2学期の朝の一言で披露しましたが、ヤクルト高津監督の名言「大丈夫、絶対大丈夫！」を頂き、今日も朝、自宅の仏前でこの呪文を唱えてから学校に来ました。

ちょっと考えてみてください。50を超えたおじさんでさえ、言葉や呪文によって自分の行動や考えをコントロールして日々頑張れている訳です。若い十代の皆さんなら、思いや夢や目標をどんどん口にしていけば、その夢は簡単に叶います。叶うはずですよ。

どうぞ「ありがとう」の言葉・メッセージは勿論、「試合に勝つ！・テストで何点を取る！・〇〇高校に入る！・〇〇になる！」と、繰り返し発信し、唱え続けてみてください。きっと夢は叶うと先生は信じます。

さあ、56日間（3年生は45日間）の3学期が始まりました。一日一日を大切に過ごし、全員がよかったと思える3学期にできる様 しっかり頑張りましょう。以上で、3学期始業式、校長の式辞とします。